

TOPICS

園児の成長した姿を披露

幼保合同生活発表会

3月4日、幼稚園・保育園たちの1年間の成長の様子を保護者に披露する「合同生活発表会」がふるさと産業文化館で開かれ、園児たちは練習の成果を一生懸命発表しました。

4月から幼保一元化施設「明和こども園」を開園するにあたり、モデル事業として幼稚園児と保育園児が一緒に取り組んできた成果を見ていただこうと今年、合同で生活発表会を行ったものです。

幼稚園児169人、保育園児125人がグループ発表の手話つきの合唱「手のひらを太陽に」や遊戯「恋のマイアヒ」・「キューティーハニー」、オペレッタで「海のダンスパーティー」などを力いっぱい披露しました。

園児たちは「僕いっぱい練習したよ」「すごく楽しかった」「上手にできたよ」と満足そうに話していました。

お母さんは「みんなと一緒に頑張っている姿を見て、子どもの成長ぶりをうれしく感じました」と笑顔で話していました。

会場では、見学に訪れたお父さんやお母さんなどから、かわいいが演技が終わるごとに大きな拍手が送られていました。



上 年少組の遊戯「キューティーハニー」

左 年長組のグループ発表「フラフープ」



エコファーマーの認定を受けた大野さん

化学農薬を低減し、安全でおいしい

大野雄吉さんエコファーマー認定（苺）

このほど、町内で農業を営む大野さん（矢島）が、エコファーマーの認定を受けました。

エコファーマーとは、堆肥等を活用した土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行っている、環境にやさしい農業生産方式を持続的に計画・遂行し、それを県知事が認定した農業者につけられる愛称です。

取り組んできた成果を発表

県立館林商工高等学校

県立館林商工高等学校では、2月24日第6回課題研究及び学習成果発表会をふるさと産業文化館で行いました。

3年生が課題研究授業の中で取り組んできた成果を発表し、地域の人に広く知ってもらうことが目的。機械システムコースの「すみか研究」をはじめ6組がスライドなどを使い、発表しました。



課題研究を発表する生徒